

## い ますぐはじめる 現場の生産性向上

中小建設企業の働き方改革

日本コンサルタントグループ  
建設産業研究所



菅原 政郎

### ⑤ 時間管理の定着化(2)

第4回に続き、建設現場の生産性を向上させるための現場運営の方策を提言し、本連載の結びとする。図を参照いただきながらお読みいただきたい。施工管理業務は先読みと計画が重要である。現場の所長(上司)は、よく言えば「役割分担して仕事を部下に任せている」と言えるが、実態としては「放任している」ことが多くないだろうか。ある程度、部下に権限を与えて仕事を任せることは本人の成長のためにも必要である。しかし、建設現場全体の生産性を

上げる。そのスケジュールを確認しながら上司と部下が定期的に協議し、これを継続して行う。  
協議ポイントは▽予定業務に漏れはないか▽業務の優先順位は正しいか▽所要時間の設定は適切か―の3点である。  
実際にある建設会社では、現場での2週間分の上司と部下のスケジュールを計画して持ち寄り協議した。そのことで仕事が見える化され、仕事の繁閑が明確になり、お互いに仕事をサポートする連携がスムーズにできるようになった。その結果、以前に比較して自然と残業も減少した。このような基本的な活動管理から改善することが時短・休日取得実現への近道となる。

また、建設現場の生産性向上は、自社内だけでなく、協力会社の協力体制も改革しなければ難しい。例えば、昼礼(工程会議)を改革してみてはいかがだろうか。なかなかスケジュール化が難しいという現場監督でも、その日の午後から翌日の昼までであれば具体的にスケジュールを示すことは可能だ

ろう。これを昼礼で協力会社(職長)に示すことで「自分の仕事に集中できる体制作り」を行ってほしい。ポイントは下記3点である。  
(1) 現場検査を職長同行とし、予定を決めたら動かさない

## 上司・部下の連携がカギ

向上させるためには、日ごろから上司と部下の連携(情報共有、コミュニケーション等)がカギとなる。例えば、部下の翌週分の必要業務を事前にスケジュール化さ

(2) 他の職長にも現場監督の予定を昼礼で周知する  
(3) 翌日の昼までの工事に関する問題など、職長からの打合せの要望は、昼礼時に受けまとめて解決する  
これは簡単なことではないが、「早めに協力会社(職長)から情報提供や相談要請が行われる現場を作る」ことが生産性向上につながる。

### 上司と部下の協議

予定業務に遅れが無い？ 業務の優先順位は正しいか？ 所要時間の設定は適切か？

#### 1日のスケジュールの決定

8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員
係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員	係員

#### 自分の仕事に集中できる体制作り

現場検査を職長同行とし、予定を決めたら動かさない  
他の職長にも、予定を昼礼で周知  
職長からの打合せの要望は、昼礼時に受けまとめて解決

#### 早めに職長から、情報提供や相談要請が行われる現場を作る

### 施工管理業務の先読みと計画

### 昼礼(工程会議)の改革

翌日昼までの現場監督のスケジュールを明確にする

このように建設現場の生産性向上は、現場監督の一人一人が取り組み、また、「会社のしくみ」を変えていくことで実現できる。是非明日から実践いただきたい。  
(おわり)

建通新聞 2021年3月10日(水)

い ますぐはじめる現場の生産性向上 中小建設企業の働き方改革

⑤時間管理の定着(2)